

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 4 部門第 1 区分
【発行日】令和 5 年 9 月 27 日(2023.9.27)

【公開番号】特開 2022-73553(P2022-73553A)
【公開日】令和 4 年 5 月 17 日(2022.5.17)
【年通号数】公開公報(特許)2022-086
【出願番号】特願 2020-183609(P2020-183609)
【国際特許分類】

E 0 4 D 13/04(2006.01)

10

【F I】

E 0 4 D 13/04 B

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 9 月 19 日(2023.9.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0 0 3 4】

雨水排水口改修用部材 1 の製造方法は、限定するものではないが、次のようにして製造することができる。

雨水排水口改修用部材の第 3 の筒状部の内層 4 および第 3 のフランジ部 3 を構成する材料を射出成形することにより、内層 4 および第 3 のフランジ部 3 を作製する。別途、発泡体、ゴムまたは熱可塑性エラストマーからなる筒状物を公知の方法により作製し、雨水排水口改修用部材の第 3 の筒状部の外層 5 とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

30

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 6】

改修ドレン部材 17 の第 2 の筒状部 17 a の内径は、好ましくは 36 ~ 75 mm であり、より好ましくは 69 ~ 73 mm であり、さらに好ましくは 69 ~ 70 mm である。

改修ドレン部材 17 の第 2 の筒状部 17 a の外径は、既存ドレン部材 15 の第 1 の筒状部 15 a の内径よりも小さく、好ましくは 40 ~ 79 mm であり、より好ましくは 73 ~ 74 mm である。

改修ドレン部材 17 の第 2 の筒状部 17 a の厚みは、好ましくは 0.5 ~ 3 mm であり、より好ましくは 0.5 ~ 2 mm であり、さらに好ましくは 1 ~ 2 mm である。

40

改修ドレン部材 17 の第 2 のフランジ部 17 b の外径は、好ましくは 140 ~ 280 mm であり、より好ましくは 200 ~ 250 mm であり、さらに好ましくは 220 ~ 250 mm である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 7】

雨水排水口改修用部材の第 5 の筒状部 23 の外径は、好ましくは、第 5 のフランジ部 2

50

4 側から先細りとなっていくようにテーパーを有する。第 5 の筒状部 2 3 の外径のテーパーの大きさは、好ましくは 0 超過 5 / 1 0 0 以下であり、より好ましくは 1 / 1 0 0 ~ 4 / 1 0 0 であり、さらに好ましくは 1 / 1 0 0 ~ 2 / 1 0 0 である。

なお、第 5 の筒状部 2 3 の外径のテーパーの大きさは、第 5 の筒状部 2 3 の第 5 のフランジ部 2 4 側の端の外径 D_1 と第 5 の筒状部 2 3 の第 5 のフランジ部 2 4 側とは反対側の端の外径 D_2 との差を第 5 の筒状部 2 3 の軸方向長さ L_1 で割った値をいう。

改修ドレン部材の第 4 の筒状部 2 5 a の内径は、好ましくは、第 4 のフランジ部 2 5 b 側から先細りとなっていくようにテーパーを有する。第 4 の筒状部 2 5 a の内径のテーパーの大きさは、好ましくは 0 超過 5 / 1 0 0 以下であり、より好ましくは 1 / 1 0 0 ~ 4 / 1 0 0 であり、さらに好ましくは 1 / 1 0 0 ~ 2 / 1 0 0 である。

10

なお、第 4 の筒状部 2 5 a の内径のテーパーの大きさは、第 4 の筒状部 2 5 a の第 4 のフランジ部 2 5 b 側の端の内径 D_3 と第 4 の筒状部 2 5 a の第 4 のフランジ部 2 5 b 側とは反対側の端の内径 D_4 との差を第 4 の筒状部 2 5 a の軸方向長さ L_2 で割った値をいう。

テーパーは、雨水排水口改修用部材の第 5 の筒状部 2 3 と改修ドレン部材の第 4 の筒状部 2 5 a の両方につけてもよいし、いずれか一方につけてもよい。

第 5 の筒状部 2 3 および / または第 4 の筒状部 2 5 a がテーパーを有することにより、雨水排水口改修用部材を第 4 の筒状部 2 5 a に引っかかることなく確実に嵌め込むことができる。

20

30

40

50